

(ID: [REDACTED])

説明・同意書

私は、患者 [REDACTED] 様に対して下記の手術について次のように説明致しました。

手術名：腹腔鏡下回盲部切除術、リンパ節郭清

病名：上行結腸癌

1. 診断：これまでの検査で上行結腸に病変を認めます。大腸内視鏡検査での生検組織の病理検査（顕微鏡での検査）で病変の一部に悪性の細胞が見つかったことから、大腸がんと考えています。
2. 手術の必要性：このまま放置すると病変が進行する可能性があり、今のうちに手術することが望ましいと思われます。
3. 手術の内容：当院では、術創の縮小を目的に、腹腔鏡を使用して手術を施行しております。病変部を含め結腸の右側を大きめ（病変部から前後に10cm以上離して）に切除し同時に周囲のリンパ節を切除します。切除後は断端をそのまま吻合します。腹腔内の所見や出血等の条件で従来通りの開腹手術に移行する場合があります。
4. 危険性：全身麻酔、手術、術後の経過を通じて多少なりとも危険性（たとえば、術中の血圧の変動、ショック、出血、術後の合併症など）があります。まれですが、高齢化あるいは基礎疾患の有無により致命的な合併症が発症することがあり、手術死亡率 0～1%、在院死亡率 0～2%と報告されています。
5. 合併症：①出血（術中術後：輸血 再手術）、②縫合不全（つないだ部分のなおりが悪くもれが生じること：絶食 一時的人工肛門造設）、③腹腔内膿瘍（排膿処置）、④尿管損傷、他臓器損傷、⑤腸閉塞、⑥創感染、⑦術後肺炎、⑧肺梗塞・心筋梗塞・脳梗塞、などが起こることがあります。
6. 術後経過：経過が順調ならば、術後3日ごろより食事を始め約10日間で退院できる見込みです。ただし、合併症をおこすと絶食や入院の期間が延びることがあります。手術後はしばらく便通の異常（やや下痢気味になったり、回数が増えたりすること）があります。数カ月で軽快する人がほとんどですが、適宜外来担当医とご相談下さい。
7. その他：後日、切除した結腸の病理検査の結果をお伝えします。また、この同意書の内容、手術前後の説明にわからないことがあったり、術後の経過で気になることがあればいつでもお聞き下さい。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

説明医師 [REDACTED]

(同席医師) : 自署

(同席看護師) : 自署

私は、上記の内容の説明を受け同意します。また、上記手術を行うために必要な処置と、これらの目的にかなった全身、またはその他の麻酔を受けることもあわせて同意します。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

患者氏名

(自署)

親族又は代理人氏名

(自署)

続柄 ([REDACTED])

東海大学八王子病院